



☎ 591-7376  
akitojcp@livedoor.com

市議会議員 中野あきと事務所ニュース

# みとりと清流

2002年10月発行 第11号

日本共産党 中野あきと事務所  
日野市南平7-6-72 ☎599-3350  
〒191-0041 発行責任者 小山敏正

しんぶん 赤旗

日刊紙 一か月 2900円  
日曜版 一か月 800円

お申し込みは  
南多摩事務所 ☎582-0505  
又は、中野事務所へ

生活・法律相談など  
お気軽にお立ち寄り下さい



高幡  
南平駅  
中野あきと事務所  
北野街道

## 「これでは住環境は守れない」、市は本来の役割をはたせ

私は「まちづくり建設委員」として六月の議会では東電変電所を、九月には豊田三丁目の高層マンション建設について、問題を抱えた住民の方々の、切実な問題を担って本会議でも質問し、委員会でも追及してきました。

最近の日野市の行政当局のやり方は、まちづくりの砦である「指導要綱」を空洞化し、これを守ろうとしない開発業者を野放しにするばかりか、一緒になって認めてしまっている始末です。これでは「要綱」のいう、よりよい住環境は守れません。

たしかに「指導要綱」は、法的な拘束力を持ちません。しかし、行政の毅然とした態度がこれを守らせることになるのです。

東電変電所の問題を私がたどした六月の時点では、市は、法的にみて「仕方がない」という態度でした。しかし、六月議会の一般質問で、住民の方の深刻な訴えを伝えたことにより、市長が、それまで市がとってきた態度

をくつがえして「もう一度努力する」「それをするべく私はこの席にいる」と表明し、東電と再度折衝した結果が、事態を転換させた一つの大きな要因となっています。

豊田三丁目の問題でも、高幡の問題でも、市は原点に返って、住民の立場でことにあたるよう、皆さんとともにがんばる決意です。

中野あきと



「絶対反対」の看板をよそに、マンション工場のクレーンが……。

わずか一八〇平米の敷地に十三階の建物。開発業者にとっては「おいしい」地域にもなりかねない。「ここはこんなビルに囲まれてしまうのか」「開発負担金まで負けて、誰かの口利きでもあったのか」と地元の声も。【豊田三丁目】

「まちづくり指導要綱」とは  
乱開発が激しい多摩の各市では、『住環境』を守る、まちづくりのための『要綱』が策定されています。

日野市では七二年より施行され、『まちづくりの主役は住民』の考えを基本に、他市と比べても比較的厳しい規制で住民を守ってきました。

正式には「日野市住みよいまちづくり指導要綱」といい、第一条で「過密化やスプロール化等住環境の悪化及び災害の防止をはかり、健康で文化的な市民生活を保障できる『住みよいまちづくり』の実現に寄与することを目的とする」と、うたっています。

## 草の根から

中野あきと

九月議会は決算議会。「決算は十一億円の黒字で、財政は改善してきている」と市はいい、「行革の成果だ」と与党議員は強調しました。「お金がない」が口癖で、リストラ、倒産、失業で暮らしが大変な市民に、「痛み」を押しつけて生み出した黒字を、どうして誇れるでしょう。

馬場市政の五年間は、一方で四十億円ちかい「溜め込み」が。今後、四十〜五十億円かけた総合体育館、九〜十億円といわれる新撰組テーマパーク、「道の駅」などの新たな公共事業をすすめるといっています。

くらし、子育て、介護、学校の耐震化と切実な問題は山積みです。「お金がないから」「財政難だから」の正体は明らかです

# 『指導要綱』の空洞化、「まちづくり」はどうなる

▼高幡医療用地の売却強行▲

## 市民不在の計画 周辺に問題が波及

高幡地区の、医療施設用地だった公有地が売却され、高層マンションの建設が始まっています。

この計画で日野市は、「指導要綱」による従来の考えをくつがえして周辺住民一人ひとりの「同意書」ではなく、自治会に意向の「まとめ」を行なわせて、少なくとも反対者がいるにもかかわらず「多数決」による集約で「よし」としてしまいました。

また、用地内にあつたゲートボール場の代わりに、近隣緑地の中にある土地を充てる案を持ち出し、隣接するマンション住民の反対の意向も無視して、工事を強行しようとしています。

さらに、高層マンションの建設に対応する、この地域への進入道路建設のために、潤徳小学校裏の『向島親水路』まで台なしにしようとしています。



「同意もしていないのに工事をするのは、おかしいじゃあないですか」と、工事中止を求めるマンションの人たち（手前側）と、市職員。【高幡地域】



### 開発負担金とは

「指導要綱」で、緑化推進や公共施設などの経費の「負担の原則」という考え方に基づき、開発業者に応分の負担を求められます。

当該敷地内に、どれだけ駐車場を確保したのかという、確保率に応じた軽減措置が決められています。この高層マンションは、敷地内に駐車場を一台も確保していません。ちなみに、六割の軽減措置は、100%確保の場合です。市は「近隣に100%確保されたから」といっています。が、こんな言い分は市民に通用するものではありません。

### ▼豊田南の高層マンション▲ 「開発負担金」を六割も軽減

周辺住宅に貼りめぐらされた『絶対反対』の看板をよそに、わずか一八〇平米の敷地に、高さ五三米に及ぶ高層マンションの工事が、いま豊田三丁目で強行されています。

ここでも日野市は「指導要綱」に定める周辺住民の「同意届」も無いのに、開発業者の申請を受理。この業者との間で「協定」を締結。

開発負担金の四千八百万円を、理由も成り立たないのに千八百万円と、六割も軽減しています。

周囲の緑が気に入って購入した人も多いマンション。目と鼻の先の草地がゲートボール場に。【高幡地域】

### 短信

「これまで私たちはただのご近所同士、顔を見たとき、あいさつを交わす程度の仲でした」「今は身内の以上のつき合いです」。健康をおびやかす問題に直面し、『住環境を守れ』と立ち上がった「高幡の環境を守る会」の方の話です。巨大企業「東電」を相手にたたかい交渉でも抗議行動でも、見事な結束力を示し、変電所建設問題を新たな段階に発展させました。この力は「都市型変電所はどうあるべきか」を電力各社に問う、発信源のたたかいにもなっています。

▽中野事務所を開設して一年。まだ昼間だけではありませんが、常駐体制も徐々に整いつつあります。地図を片手において頂き要望やご意見をお聞かせ下さる方も。お気軽にお出かけ下さい。

▽「躍進を祈っています」「戦争のない平和な社会を守る党として期待しています」「民主的な市政をぜひ」「カルト集団に負けるな」「死に物狂いでがんばって」「大事な選挙です。全員当選のため応援します」…。夏期・冬期カンパ、選挙募金などの袋に記された期待、激励の言葉の一部です。貴重な募金・カンパ、有り難うございます。がんばります。